

あなたの家 地震への備えは大丈夫？

始めよう！耐震化



大地震はいつどこで起きるか分かりません。

能登半島地震では、多くの古い木造住宅が倒壊し、下敷きとなった人の尊い命が失われました。住宅の倒壊は、一瞬にして人命を奪うだけでなく、多くの負傷者を発生させます。運よく倒壊しなかったとしても、余震がある中、壊れかけた住宅に住み続けることはできず、不自由で過酷な避難所生活を余儀なくされます。

また、倒壊した建物が道を塞いでしまう被害も多発しました。道が塞がれることで避難が難しくなるだけでなく、救急車や消防車が現場に近づけず、救助活動や消火活動も遅れてしまいます。



写真：「石川県能登を震源とするM7.6の地震建物被害初動調査(2024)」金沢大学・金沢工業大学

昭和56年以前に建てられた木造住宅は特に注意が必要です。耐震性が低いため、大地震の揺れに耐えられず、大きく傾いたり、倒壊する可能性が高いです。

そのような古い住宅でも、地震に強くなるよう耐震改修することにより、慣れ親しんだわが家に長く住み続けることができ、地域の防災力も高まります。

あなたの住まいは大丈夫ですか？

離れて暮らしている高齢の親御さんの住まいは大丈夫ですか？

大切な家族を守るために、住宅の耐震化へ踏み出しましょう。

あなたのその一歩が地域の防災力を高め、地域コミュニティへの貢献につながります。

耐震診断・耐震改修への補助制度があります。詳しくは、お住まいの市町村の窓口へご相談ください！



福島県木造住宅等耐震化支援事業

この地域は地盤が強いから大丈夫

「きっと大丈夫」その油断が被害を大きくするかもしれません

生きている間には大地震は来ないから大丈夫

これまでの地震で被害がなかったから大丈夫

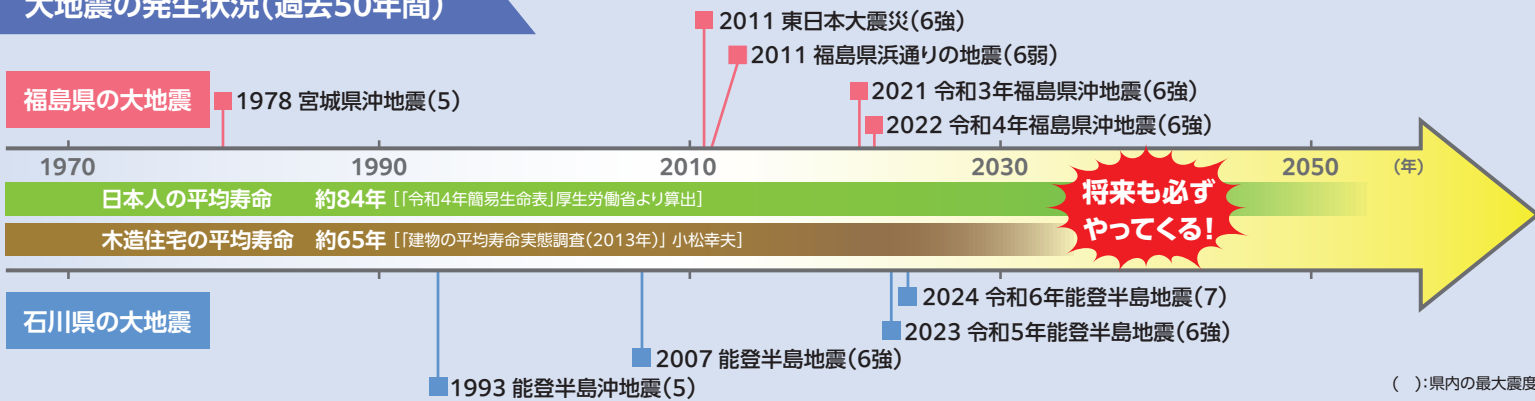
隣の家も耐震改修していないから大丈夫



写真：[石川県能登を震源とするM7.6の地震建物被害初動調査(2024)]金沢大学・金沢工業大学

大地震は何度もやってくる

大地震の発生状況(過去50年間)



耐震化の効果は？



命を守る

自分や家族の命を守ることができます。



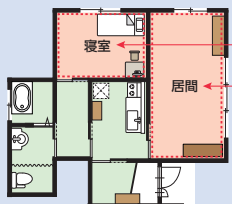
被害を軽減

地震後も修理をすることで、自宅で過ごすことができます。

家全体の耐震改修が難しい場合



部分改修という方法もあります



居間や寝室だけを(長く居る部屋)補強する方法です。

費用を安く抑えることができます。

地域の防災力向上

- 住宅の倒壊による道路の閉塞が発生しないので、避難・救助がスムーズに行えます。
- 住宅の倒壊による火災の発生や延焼が抑えられるなど、自宅だけでなく地域の防災力向上にも大きな効果があります。



福島県 木造住宅 耐震化 検索

福島県土木部建築指導課 民間建築担当



多世代同居・近居推進事業など、他の補助と併用できる場合があります。また、改修工事とあわせて利用可能な融資・税制等があります。

詳しくは、県建築指導課HPをご覧ください。